

日本での交換留学

ナポリ東洋大学
ドランナカステッラーナ
学籍番号：k2590020

今、日本での留学生活がもうすぐ終わろうとしています。時間がこんなに早く過ぎたことが、まだ信じられません。毎日があっという間に過ぎて、気づけば、もうこの経験も終わりに近づいていました。ときどき、これが本当に現実だったのか、まだ信じられないこともあります。まるで夢を見ていたような気がします。でも、これは夢ではなく、本当に



起こったことです。

この数か月間で、私はいくつかの大きな夢をかなえることができました。富士山に登って、山の頂上から日の出を見ました。そして、息をのむほど美しい場所を、自分の目で見ることができました。これらの思い出は、一生心の中に大切にしまっていきたいと思います。

日本での生活は、私にとって、ただの勉強の経験ではありませんでした。私はここで成長し、我慢することの大切さを学び、難しいことがあってもあきらめない気持ちを身につけました。そして、自分をもっと信じられるようになりました。

この数か月間、私を支えてくれたすべての方々に、心から感謝したいと思います。国際交流課、国際教育センター、そして、私の日本での家になった音羽

館の皆さま、本当にありがとうございました。また、毎月のレポートを読んでもくださり、いつも親切にしてくださった宮内先生にも、心から感謝しています。そして、友だちのマリア、リンダ、ナタリア、イサ、ダリアにも、心からありがとうと言いたいです。楽しいときも、大変なときも、そばにいてくれてありがとうございました。みなさんと過ごした時間のおかげで、この最後の学期は、より温かく、やさしいものになりました。チューターの菜乃香さん、いつもやさしく、丁寧に助けてくれて、本当にありがとうございました。つらいときも、一人だと感じることはありませんでした。また、遙さんとほずみさん、私の大切な友だちになってくれて、ありがとうございました。この友情がこれからも続くことを願っています。

さらに、茶道部にも感謝したいと思います。茶道を通して、日本文化の別の素晴らしい一面にふれることができました。先生と部員のみなさんが、いつもやさしく指導してくださり、励ましてくださって、私を家族のように迎えてくれたことに、心から感謝しています。みなさん一人一人が、私の心に大切な思い出を残してくれました。

そして、東京があります。

お茶の水女子大学があります。

ここは、私を最初の日から温かく迎えてくれて、最高の経験をさせてくれた場所です。

何度も歩いた道、混んでいる電車、勉強したカフェ、信号の音、夜の光、毎日の小さな出来事が、すべて大切な思い出になりました。東京は私を受け入れてくれて、ここが自分の居場所だと思わせてくれました。遠く離れた国でも、「ここが私の家だ」と感じる事ができました。



私はここで成長し、失敗し、学び、自分でも知らなかった自分に出会いました。

残念ですが、どんなに素晴らしい経験でも、いつかは終わります。この章はもうすぐ終わりますが、ここで過ごしたすべての時間を、私は一生忘れません。私は、たくさんの思い出と新しい夢、そして大きな感謝の気持ちを胸に、帰国します。

本当に、ありがとうございました。